

-----8月18日-----

※ 今週のアウトルック (8/18~8/22)

先週は、リバウンドから円安が進む通貨ペア、先々週の状況と同じように円高が進む通貨ペアなど、幾分まちまちな展開となりました。全般的には地政学的リスクの拡大などから、円、スイスフラン、米ドルなどが買われているようです。

今週はウクライナ情勢がさらに緊迫する中、NYダウや日経平均などの下落と合わせて、円高が進む可能性が幾分高いように思います。

先週のドル円は、102円付近からのリバウンドで、週初から徐々に円安が進みました。

ただ、米国のマクロ指標などは、予想を下回るものが多く、景気先行き不透明感が、少し漂っているようにも思います。

今週はウクライナ情勢がさらに緊迫感を増す中、リバウンドからの円安はそろそろ限界を迎え、円高に転じる可能性が、幾分強いのではないかと考えています。

米ドル円の予想レンジは101.8円から103円です。

ユーロ円は、テクニカル的には136円付近をサポートラインとして、円安に転じた様相となっています。

ただ、ウクライナ情勢などの悪化などを考え合わせますと、円安トレンド復活と考えるのは、まだ早いように思います。

今週、136円を再び割り込んでしまうようなことがあれば、再び円高に転じる可能性も考えられるように思います。

ユーロ円の予想レンジは134円から138円です。

ポンド円は、先週、円安気味に動く通貨が多い中でも、結果的には円高が進んで、週末を迎えています。

今週は、一度169円から170円まで円高が進む可能性が、幾分高いように思います。

ポンド円の予想レンジは168円から173円です。

地政学的リスクが幾分増大する中、景気に対する不透明感も、幾分強くなっているように思います。

今週も強気、弱気の駆け引き感が、幾分強いように思います。

免責事項

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。